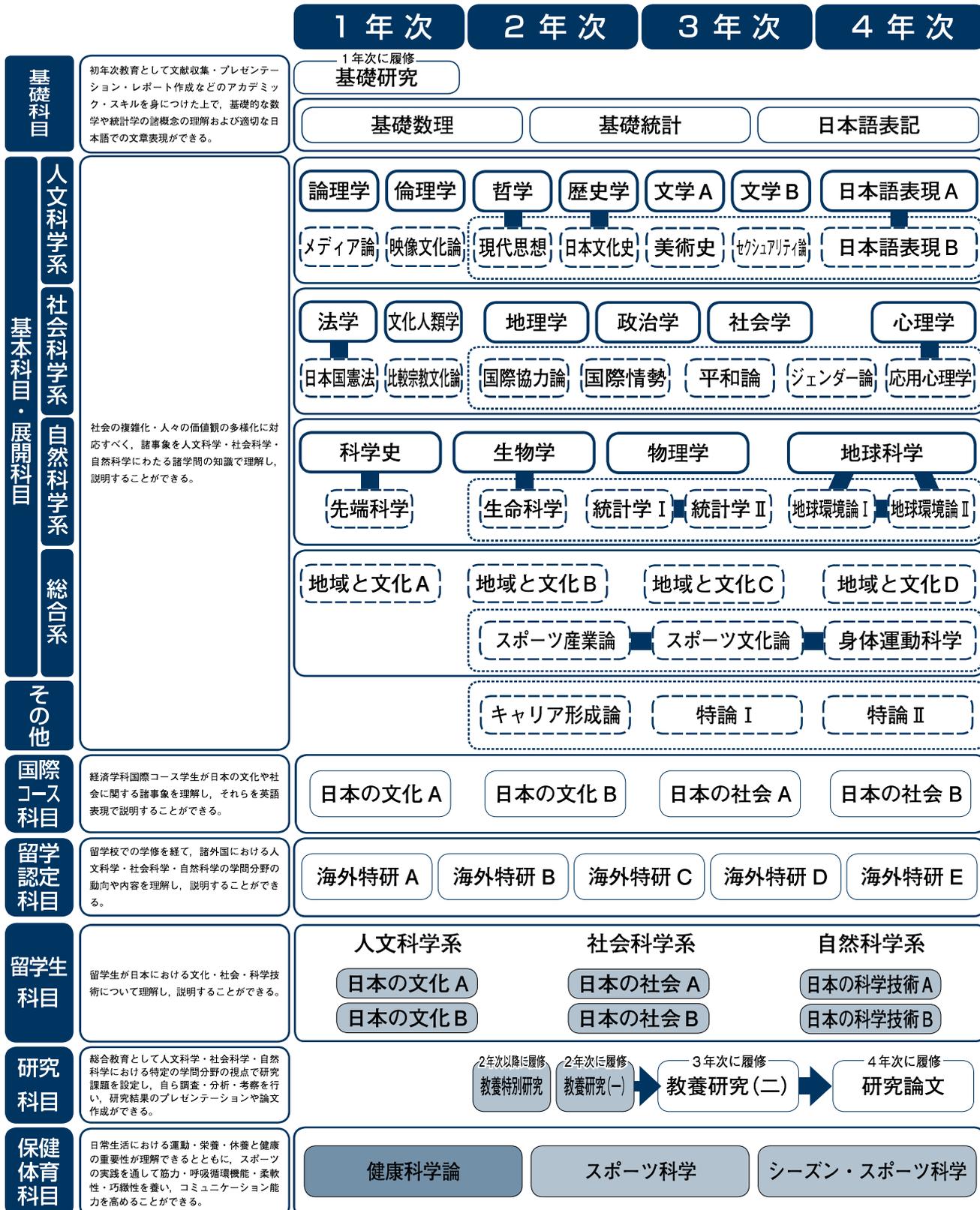


4 履修系統図

1 総合教育科目



凡例
 ● は段階的な履修の方向性を示す。
 ○ は比較的關係性が強い科目群を示す。
 1～4年次に履修 2～4年次に履修

2 外国語科目

		1 年 前 期	1 年 後 期	2 年 以 上					
英語科目	基礎技能科目	<p>1年次に英語基礎四技能(Reading, Writing, Listening, Speaking)を技能別に、また集中的に学修することによって、英語を正確に解釈し、また自分自身の考えを的確に表現できる。</p>		英語リーディング	英語ライティング	再履修科目	英語基礎A	英語基礎B	英語基礎C
	総合技能科目	<p>英語の native speakers はもちろんのこと、英語の non-native speakers 同士でコミュニケーションを展開することも念頭に置き、言語的知識とその運用能力を発展・向上させるための基礎を作り、異文化間のコミュニケーションにおける文化的多様性を理解する。</p>		英語コミュニケーション	英語コミュニケーション	<p>英語プレゼンテーションⅠ 英語プレゼンテーションⅡ</p> <p>メディア英語A メディア英語B</p> <p>国際理解のための英語A 国際理解のための英語B 国際理解のための英語C</p> <p>ビジネス英語Ⅰ ビジネス英語Ⅱ</p> <p>英語ワークショップA 英語ワークショップB 英語ワークショップC</p> <p>総合英語</p>			
	資格試験科目	<p>海外留学、キャリア形成を目標に、TOEFL®, TOEIC®における各セクションの問題形式に慣れ、模出事項の解答方法に習熟する。TOEFL®ではアカデミック英語、TOEIC®ではビジネス英語に特有の英語表現に慣れる。</p>		TOEFLⅠ TOEFLⅡ TOEFLⅢ			TOEICⅠ TOEICⅡ TOEICⅢ		
		注) 英語コミュニケーションは前期あるいは後期のどちらかで履修します。							
		注) 国際コース学生は「TOEFLⅡとTOEFLⅢ」あるいは「TOEICⅡとTOEICⅢ」のいずれか2科目4単位を修得しなければなりません。							
第二外国語科目		1 年 前 期	1 年 後 期	2 年 以 上					
	世界で汎用性の高い「中国語」「ドイツ語」「フランス語」「スペイン語」のいずれかを学び、その運用能力を高め、それぞれの言語が使用されている国や地域と日本における文化・社会を比較することによって、世界が多様な価値観と社会構造のもとで成立していることを理解する。	ドイツ語Ⅰ	ドイツ語Ⅱ	ドイツ語Ⅲ	ドイツ語Ⅳ	ドイツ語Ⅴ	ドイツ語Ⅵ		
		フランス語Ⅰ	フランス語Ⅱ	フランス語Ⅲ	フランス語Ⅳ	フランス語Ⅴ	フランス語Ⅵ		
		中国語Ⅰ	中国語Ⅱ	中国語Ⅲ	中国語Ⅳ	中国語Ⅴ	中国語Ⅵ		
		スペイン語Ⅰ	スペイン語Ⅱ	スペイン語Ⅲ	スペイン語Ⅳ	スペイン語Ⅴ	スペイン語Ⅵ		
1 年		2 年 以 上							
選択外国語科目	ロシア語Ⅰ	ロシア語Ⅱ							
	朝鮮語Ⅰ	朝鮮語Ⅱ							

凡例 ・ は比較的関連性が強い科目群を示す。

必修科目

選択必修科目

選択科目

学科共通科目

プログラム科目

研究科目

学部共通科目

近代経済学の基礎理論についての理解を深めるとともに、経済学を系統的かつ体系的に学ぶために必要となる基礎的な知識を習得する。

経済理論をより深く学ぶとともに、個別の専門知識を習得することで、数理的理解力をもって現実の経済問題を分析し、それを論理的に叙述するための専門的な能力を身につける。

経済学史、経済史などを学ぶことによって、経済現象を歴史的かつ多角的に捉える幅広い視野をもち、それを現代経済の様々な分野に対して応用するための専門的な能力を身につける。

経済発展の基礎となる生産・産業の構造やその特徴について理解したうえで、金融政策、租税、地方財政などを学ぶことで、現実の経済政策を分析し、それを論理的に叙述するための専門的な能力を身につける。

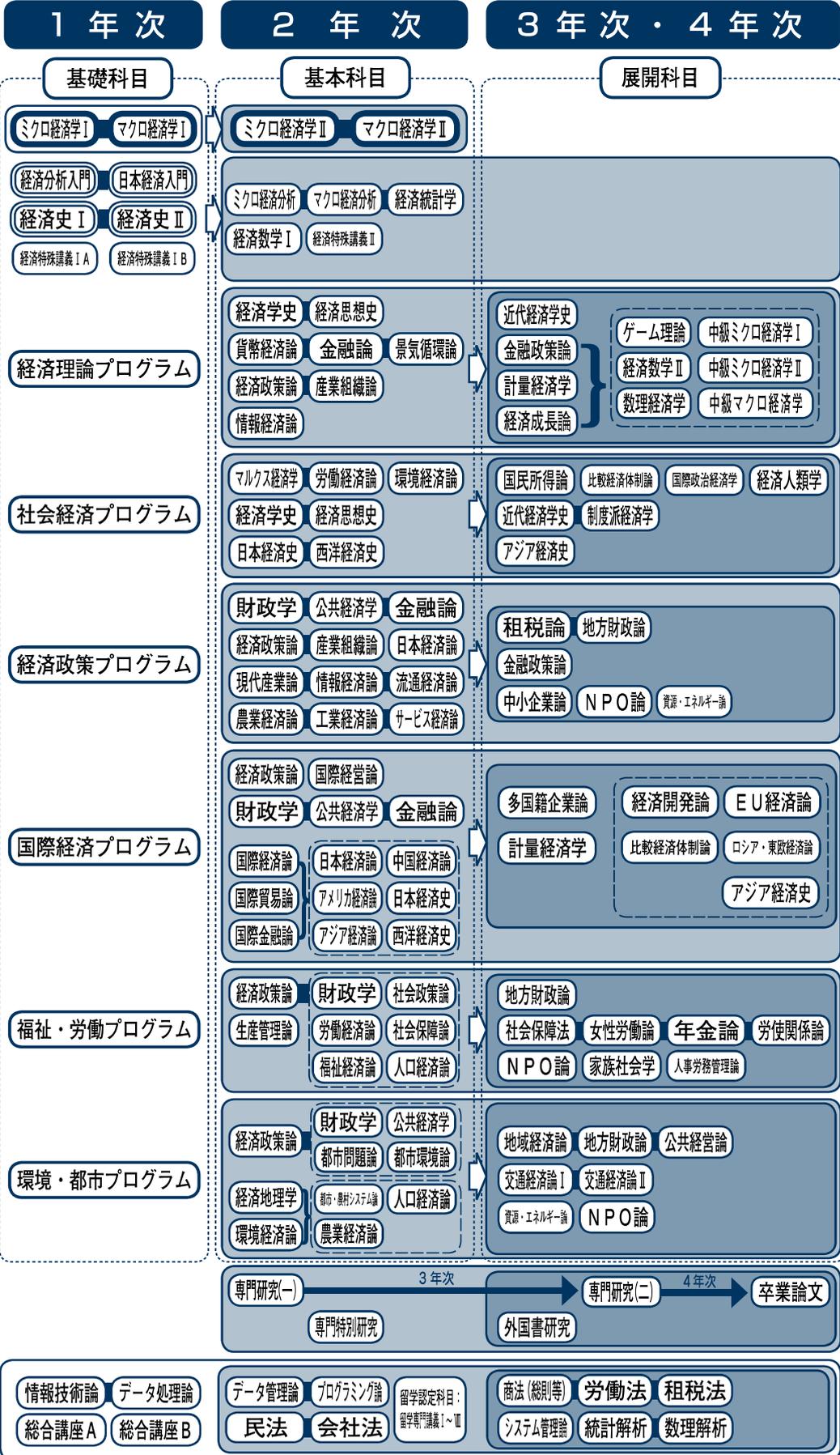
グローバル化する現代の経済社会への理解を深めるとともに、各国・地域の個別の経済状況や日本経済への影響などの専門知識を習得することで、国際的な観点から経済を分析する専門的な能力を身につける。

子育て、医療、介護、年金などのような福祉の問題と、賃金、労働時間、雇用・失業などのような労働の問題を経済学的に分析し、解決するための政策・立案を行うための専門的な能力を身につける。

グローバルな視点での環境問題から、交通環境、都市環境などの生活空間の環境問題にいたるまで、環境と都市にかかわる諸問題を正しく捉え、その問題に対する対策を提案するための専門的な能力を身につける。

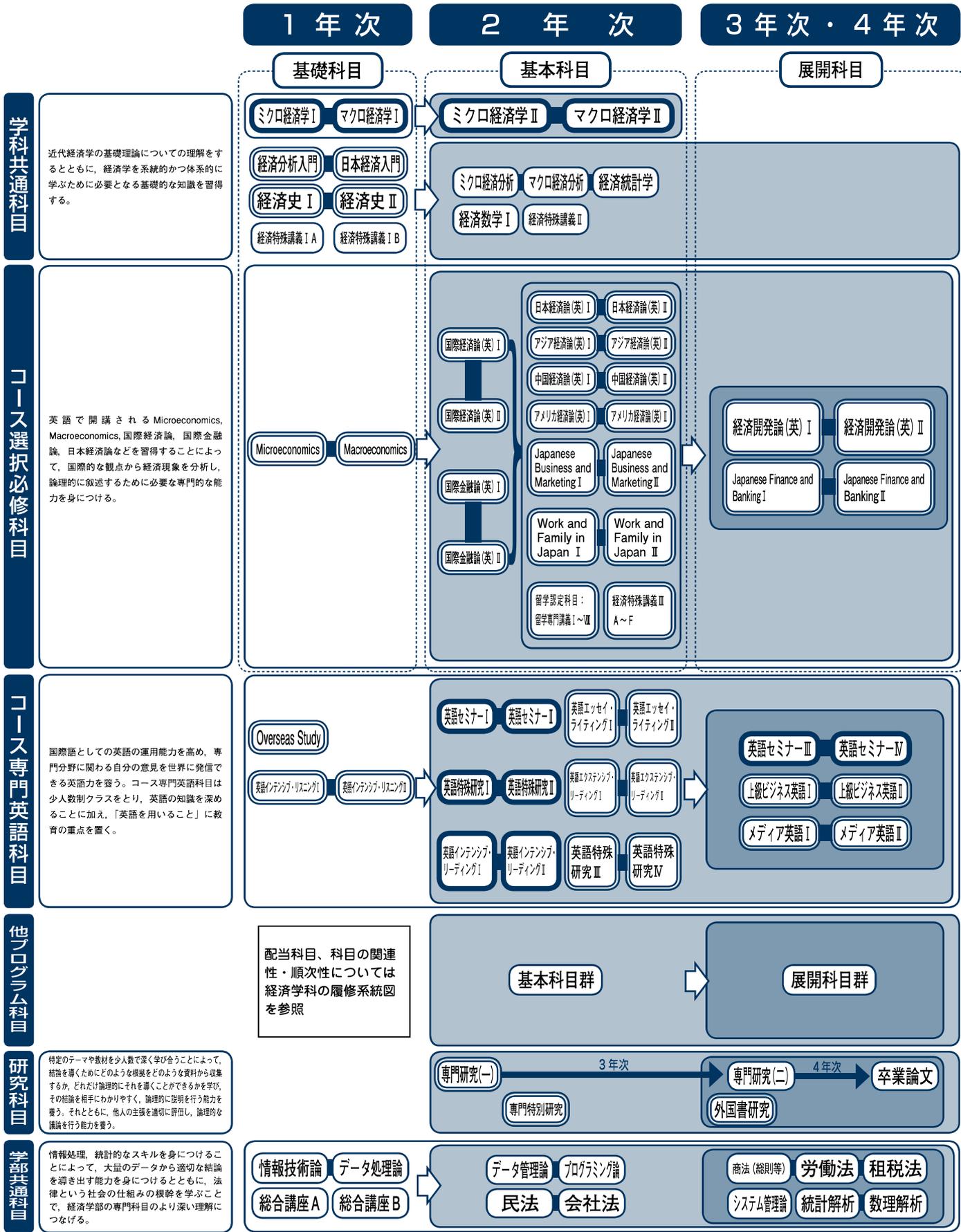
特定のテーマや教材を少数人で深く学ぶことによって、読解を深めたいような文献をどのよう資料から収集するか、どれだけ論理的にそれを深く学ぶことができるかを学び、その結論を相手にわかりやすく、論理的に説明を行う能力を養い、それとともに、他人の主張を適切に評価し、論理的な議論を行う能力を養う。

情報処理、統計的なスキルを身につけることによって、大量のデータから適切な結論を導き出す能力を身につけるとともに、法律という社会の仕組みの根幹を学ぶことで、経済学部の専門科目より深い理解につなげる。



凡例 : ◀は段階的な履修の方向性を示す。
 : ◯は比較的關係性が強い科目群を示す。
 : ◻は必修科目、◻は選択必修科目、◻は選択科目を示す。

4 経済学科国際コース



学科共通科目

近代経済学の基礎理論についての理解をするとともに、経済学を系統的かつ体系的に学ぶために必要となる基礎的な知識を習得する。

コース選択必修科目

英語で開講される Microeconomics, Macroeconomics, 国際経済論, 国際金融論, 日本経済論などを習得することによって、国際的な観点から経済現象を分析し、論理的に叙述するために必要な専門的な能力を身につける。

コース専門英語科目

国際語としての英語の運用能力を高め、専門分野に関わる自分の意見を世界に発信できる英語力を養う。コース専門英語科目は少人数制クラスをとり、英語の知識を深めることに加え、「英語を用いること」に教育の重点を置く。

他プログラム科目

配当科目、科目の関連性・順次性については経済学科の履修系統図を参照

研究科目

特定のテーマや教材を少人数で深く学び合うことによって、結論を導くためにどのような根拠をどのような資料から収集するか、どれだけ論理的にそれを導くことができるかを学び、その結論を相手にわかりやすく、論理的に説明を行う能力を養う。それとともに、他人の主張を適切に評価し、論理的な議論を行う能力を養う。

学部共通科目

情報処理、統計的なスキルを身につけることによって、大量のデータから適切な結論を導き出す能力を身につけるとともに、法律という社会の仕組みの根幹を学ぶことで、経済学部の専門科目より深い理解につなげる。

凡例
 ◀は段階的な履修の方向性を示す。
 ◯は比較的關係性が高い科目群を示す。
 ◻は必修科目、◻は選択必修科目、◻は選択科目を示す。

学科共通科目

プログラム科目

研究科目

学部共通科目

現実の企業経営における問題とその解決方法、国際経営のあり方などの基礎知識を身につけるとともに、企業活動に必須の会計やマーケティングの実践的手法を身につける。

経営戦略、経営組織、財務管理、労務管理など、企業経営に関する専門知識を身につけるとともに、企業経営に対する深い問題意識や職能別の専門基礎力を身につける。

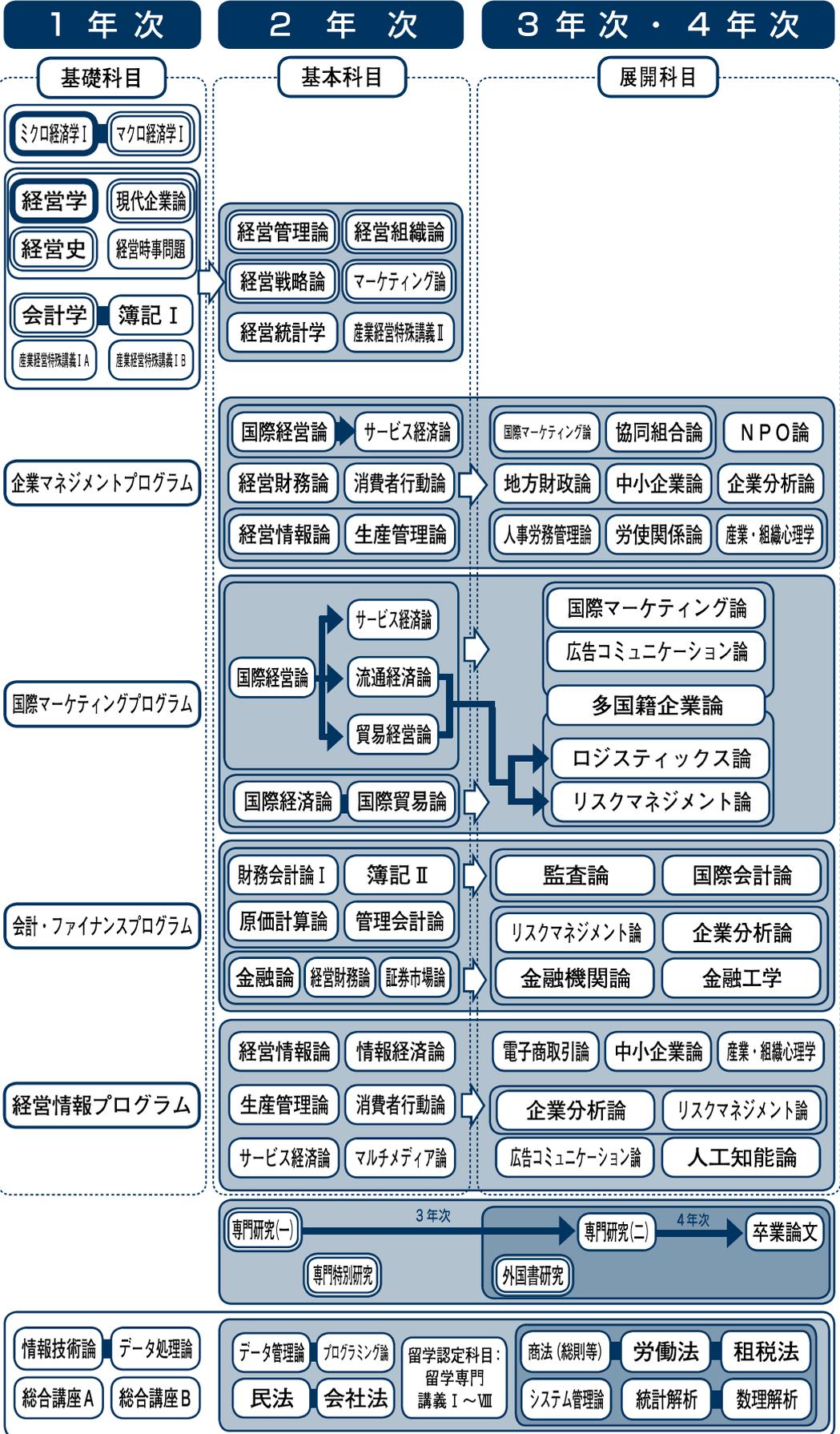
国際経営、国際貿易、流通経済、マーケティングなど、国際マーケティングに関する専門知識を身につけるとともに、グローバル経済に対応できる知識と実践力を身につける。

現代の企業で必要とされる会計、金融に関する専門知識を身につけるとともに、監査やリスクマネジメントなど実際のビジネスシーンで活かせる専門基礎力を身につける。

情報通信技術の理解、経営分析、ビッグデータ応用など、情報を活用する知識や方法を身につけるとともに、今日のビジネスに不可欠な情報通信技術を企業経営に活かす知識と実践力を身につける。

特定のテーマや教材を少人数で深く学ぶことによって、結論を導くためにどのような根拠をどのような資料から収集するか、どれだけ論理的にそれを導くことができるかを学び、その結論を相手にわかりやすく、論理的に説明を行う能力を養う。それとともに、他人の主張を適切に評価し、論理的な議論を行う能力を養う。

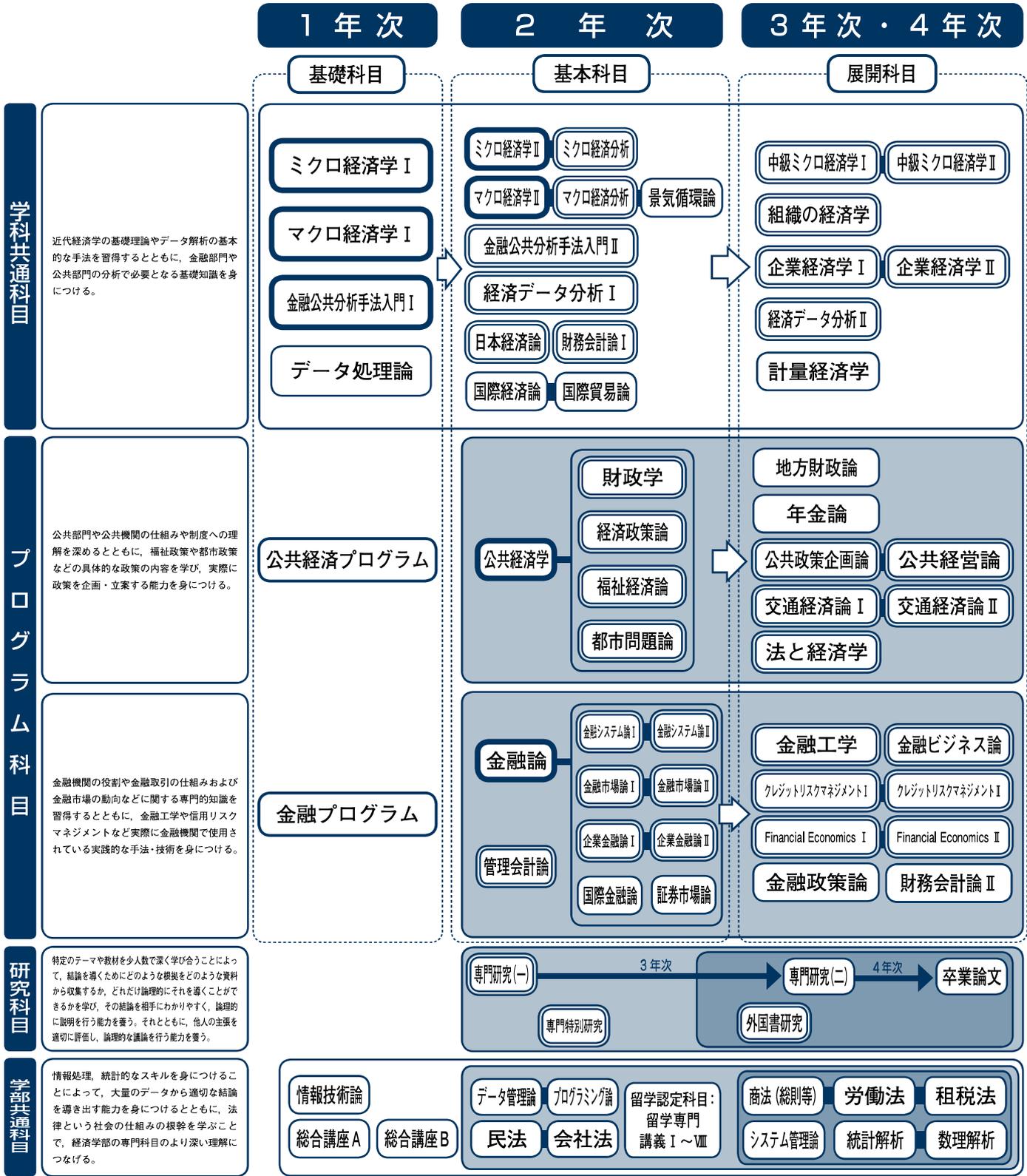
情報処理、統計的なスキルを身につけることによって、大量のデータから適切な結論を導き出す能力を身につけるとともに、法律という社会の仕組みの根幹を学ぶことで、経済学部の特長科目より深い理解につなげる。



凡例

- は段階的な履修の方向性を示す。
- は比較的關係性が強い科目群を示す。
- は必修科目、□ は選択必修科目、□ は選択科目を示す。

6 金融公共経済学科



凡例

- は段階的な履修の方向性を示す。
- は比較的關係性が強い科目群を示す。
- は必修科目、◻ は選択必修科目、◇ は選択科目を示す。